

2002

1月

第3号

CONTENTS

- ◇新年のご挨拶 2
- ◇理事会・監事会・総務委員会報告 3
- ◇JA阿蘇機構図 4
- ◇人事異動 5
- ◇JA支所訪問（2） 6・7
(中部営農センター・小国郷営農センター)
- ◇農畜産物販売実績表 8
- ◇阿蘇牛試食会／青壯年部研修会 9
- ◇年金友の会ゲートボール・Gゴルフ 10
JA県親善野球大会
- ◇訪問介護研修会・ペイオフ研修会 11
JA県親善バレーボール大会
- ◇くまもと農業フェア／収穫感謝祭 12
- ◇家具・家電ショー／女性部料理教室 13
- ◇「盟友の主張」最優秀賞 14
- ◇こちら阿蘇清峰高校（2） 15
- ◇「確定申告書」のお知らせ 16



小国郷収穫祭で撮影

謹賀新年 本年もよろしくお願ひいたします



阿蘇農業協同組合
代表理事組合長
丸山 信義



阿蘇農業協同組合
代表理事副組合長
中尾 雄二



阿蘇農業協同組合
代表理事副組合長
宇都宮 敏



代表理事常務
長牧 弘幸



代表理事常務
堀 阿蘇夫



代表理事常務
河崎 徳雄



代表理事常務
緒方 健一



統括支所担当理事
渡邊 六男



統括支所担当理事
市原 裕春

新年のごあいさつ

阿蘇農業協同組合
代表理事組合長 丸山 信義

新年明けまして、おめでとうございます。

ご家族おそろいで、輝かしい新年を、お迎えの事と思います。ご案内のとおり、昨年4月1日組合員の皆様の厚い期待とご理解のもと、新生、阿蘇農業協同組合が発足し10ヶ月が過ぎようとしています。それまでの組合員各位を始め、関係各位のご理解とご支援に対しまして改めまして、厚くお礼を申し上げます。

農業・JAを取り巻く環境は、長引く不況による全般的な消費低迷に加え、中国、韓国を始めとする農畜産物の輸入増大、牛海錐状脳症（BSE）の発生による農業所得の減少、アメリカの同時多発テロによる社会不安など不透明な時代が続いております。しかしながら、時代が大きく変わろうとする今こそ大きなチャンスであり、組合員皆様と一緒にとなって新しい時代に挑戦しなければなりません。JAと致しましても、営農指導事業、購買事業を中心とした事業体制を今以上に強化整備をし、合併の目的であります組合員の皆様の豊かな営農と生活が実現できるよう、全力を傾注して参る所存でございます。特に、JA販売におきましては、指導の充実強化が第一の課題でありますが、指導員の能力向上を研修等で図りながら、JAの第一線部署としてよりきめ細かな営農指導を確立し、地域農業のさらなる発展をめざし、県や町村と連携をしながら農業振興計画を作成し、計画に沿った産地作りを目指します。

さらには、米、野菜、畜産、大豆、花卉、果実等の振興を図り、一方では「地産地消」を念頭に於いた畜産物直販所の拡充を図りながら、畜産物加工を中心とした付加価値をつけた事業も強化して参ります。

水田転作におきましては、大豆や飼料作物を中心として、転作事業（国の助成）を最大限活用し、助成金プラス転作作物をもって米の収入と同等か、それ以上の収益を確保できるようにJAとして指導販売に努めてまいります。

購買面においては、生産コスト低減に向け、予約購買を進め、一方では仕入れ機能を充実し、良質有利な安定供給に努め、地域に密着した事業展開で日常的なふれあい活動を強化いたします。更に、この牛海錐状脳症（BSE）につきましては未だ終止できず、本年に入りましたても明るい兆しじゃなく、農家・JAにとって正念場の年に成るかと思います。JAとして組織運動（農政運動）を強め國の責任を明確にし、対策・政策を勝ち取り畜産農家の所得を確保できる様、最大の努力を系統組織上げて行って参ります。何はともあれ、「組合員の為のJA（組合員が主役）」を合い言葉に役職員一同頑張って参ります。

この新しい年が組合員皆様にとってすばらしい年になりますようご祈念申し上げますと共に。なお一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、新年のご挨拶と致します。

理事会・監事会・総務委員会報告

■第4回理事会

開催日時／平成13年11月30日午後1時30分

開催場所／阿蘇町ひのくに会館

1. 開会
2. 組合長挨拶
3. 協議事項
 - ①平成13年度上半期仮決算について
監事監査報告
 - ②支所運営委員の選任について
 - ③共済規程の一部変更について
 - ④共済規程附属書自動車損害賠償責任共済規程の一部変更について
 - ⑤貸出金について
 - ⑥10月末実績報告について
 - ⑦報告事項
 - ⑧その他

■第3回監事会

開催日時／平成13年8月29日午前9時30分

開催場所／阿蘇町ひのくに会館

1. 開会
2. 挨拶
3. 議題
 - ①上半期仮決算棚卸監査並びに事務監査実施に伴う事前準備打ち合わせについて
 - ②その他
- 【報告事項】
 - ①監事班長会議の経過報告について
 - ②先進地視察研修について
 - ③事務点検の実施について
 - ④その他
4. 閉会

■第4回監事会

開催日時／平成13年9月26日午後3時30分

開催場所／蘇山郷

1. 開会
2. 挨拶
3. 議題
 - ①上半期仮決算棚卸資産予備監査日程及び実査場所の人員配置（案）について
 - ②事務監査日程について
 - ③その他
4. 閉会

■第5回監事会

開催日時／平成13年11月26日午後1時30分

開催場所／JA本所2階会議室

1. 開会
2. 代表監事挨拶
3. 議題
 - ①平成13年度上半期仮決算監査報告について
 - ②その他
4. 閉会

■第5回総務委員会

開催日時／平成13年8月28日午後4時

開催場所／蘇山郷

1. 開会
2. 組合長挨拶
3. 協議事項
 - ①平成12年度資産査定結果並びに平成13年度の対

平成13年8月より11月まで、理事会・監事會・総務委員会が下記の通り開催されましたので、そのご報告をいたします。

応について

- ②債権管理委員の選任について
- ③その他

■第6回総務委員会

開催日時／平成13年10月4日午後1時30分

開催場所／長陽中央支所

1. 開会
2. 組合長挨拶
3. 協議事項
 - ①寄託家畜事業（農協有肥育牛）の利率設定について
◇寄託家畜事業の利率は3.5%とする。
◇上限枠については、15,000千円以内とする。
 - ②資金別貸付取扱要領の追加について
 - ③貸付金の承認について
 - ④狂牛病対策について
 - ⑤平成13年度畜産振興総合対策事業固定資産取得に係る施行方法について
 - ⑥その他
- 【報告】
 - ①固定資産取得について
イ) 久木野育苗センター（借地分）の取得
土地 3,187m² 4,143,100円
ロ) 白水給油所のローリー車取得
2Kローリー車1台 4,988,474円
 - ②平成13年産米の集荷状況について
 - ③8月末実績報告について

■第7回総務委員会

開催日時／平成13年11月2日午後1時30分

開催場所／阿蘇町東部支所

1. 開会
2. 組合長挨拶
3. 協議事項
 - ①平成13年度上半期決算について
 - ②貸付金承認について
 - ③熊本県統一ローン融資要綱の一部改正について
 - ④JA教育ローン「希望」キャンペーン実施に伴う特別金利の採用及び振込手数料の減免について
 - ⑤JAマイカーローン「輪・輪キャンペーン」実施に伴う対象ローンの金利改定について
 - ⑥資金別貸付取扱要領の追加について
 - ⑦平成13年度上半期事務監査日程について
 - ⑧養牛飼料価格対策要領（案）
 - ⑨9月末実績報告について
 - ⑩その他

■第8回総務委員会

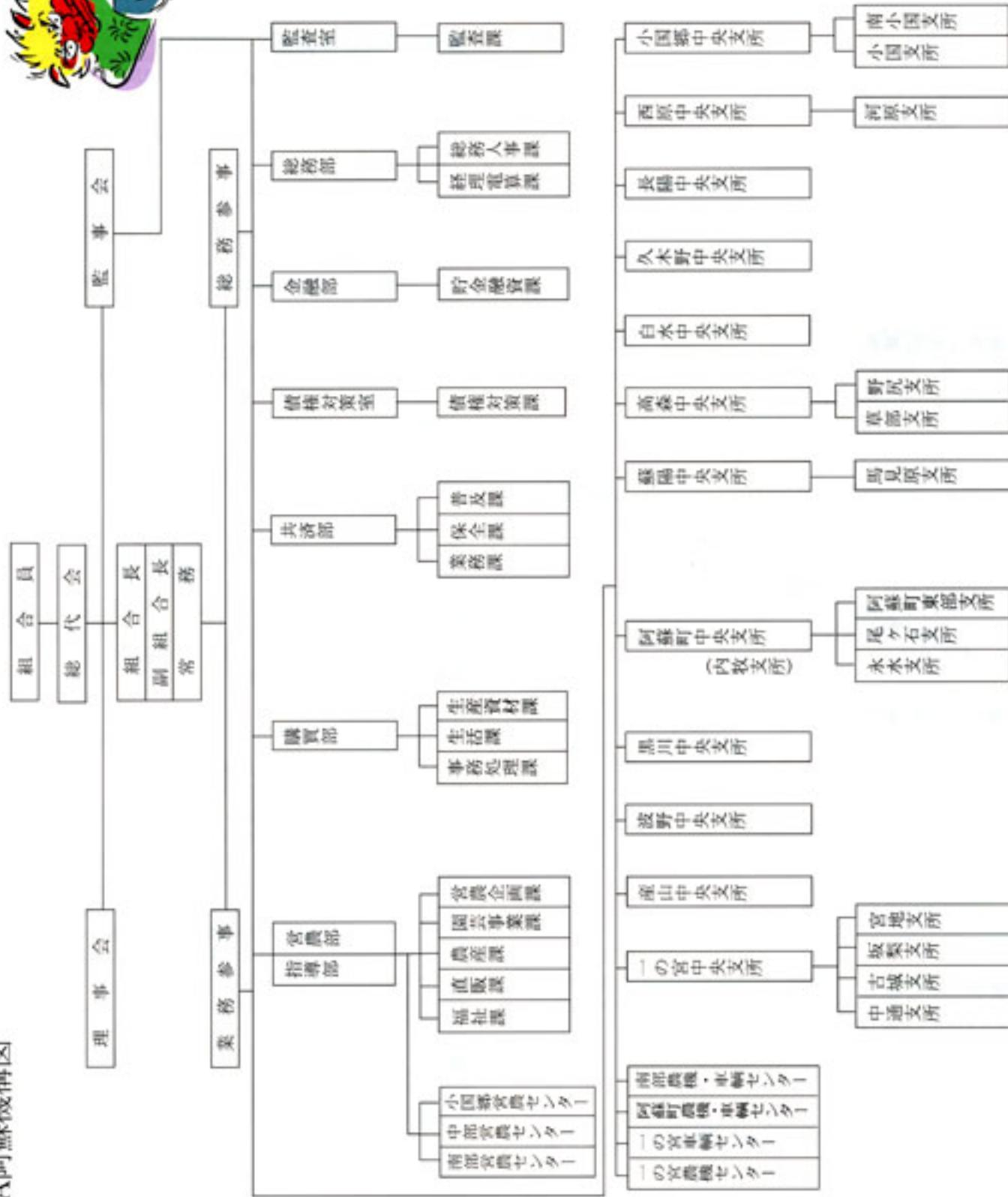
開催日時／平成13年11月27日午後2時

開催場所／阿蘇町中央2階会議室

1. 開会
2. 組合長挨拶
3. 協議事項
 - ①平成13年度上半期監事監査主要改善事項について
 - ②JA阿蘇情報化対策（案）について
 - ③平成13年年末賞与支給について
 - ④貸出金について
 - ⑤家畜寄託事業実施規程及び家畜寄託契約書の一部見直しについて
 - ⑥常務の事業取組状況について
 - ⑦その他



JA阿蘇機器圖



辞令名簿

氏名	旧職名	発令年月日	辞令の内容
石田栄子	本所 営農部	平成13年5月21日	一の宮中央支所 福祉生活女性部担当
佐藤富朗	本所 共済部 普及課	平成13年5月21日	本所 営農部
井野静代	本所 購買部 購買課	平成13年5月21日	本所 共済部 保全課
原田睦子	本所 共済部 保全課	平成13年5月21日	本所 金融部 貯金為替課
坂田順哉	本所 営農部	平成13年5月21日	本所 購買部 事務処理課
中田舞	西原中央支所 購買課 購買担当	平成13年5月21日	長陽中央支所 購買課 購買担当
富田今朝春	阿蘇乙姫支所長	平成13年7月11日	阿蘇町中央支所 債権課長
橋本一夫	第一支所	平成13年7月11日	山田支所 融資係
藤田イク子	第一支所 金融係	平成13年7月11日	山田支所 共済係
石本典子	阿蘇乙姫支所 金融係	平成13年7月11日	阿蘇町中央支所 金融係
藏原正代	第一支所 金融係	平成13年7月11日	山田支所 金融係及び精算代金振込
佐藤文子	黒川中央支所 購買課 購買担当	平成13年7月11日	黒川中央支所 購買課 購買担当
橋本由美	山田支所 共済係	平成13年7月11日	阿蘇町中央支所 共済係
佐伯ゆり	本所 営農部	平成13年7月9日	本所 総務部 人事教育課
斎藤博満	一の宮中央支所 購買課 購買担当	平成13年7月6日	中部営農センター 指導係
山部聰輔	一の宮中央支所 購買課 一の宮給油所	平成13年8月6日	中部営農センター 指導係
田代美佳	尾ヶ石支所 金融係	平成13年8月6日	永水支所 金融係
今村至	西原中央支所 購買課 購買担当	平成13年8月20日	南部営農センター 農産課(久木野駐在)
井手和宏	一の宮中央支所 金融共済課	平成13年8月20日	西原中央支所 購買課 購買担当
高村宗二	本所 総務部部長	平成13年9月1日	小国郷中央支所 金融共済課長
佐藤義磨	小国郷中央支所 金融共済課長	平成13年9月1日	本所 総務部部長
家入為雄	黒川中央支所 購買課長	平成13年9月1日	阿蘇町中央支所 購買課(やまびこ)審査役
石原美博	産山中央支所 購買課長	平成13年9月1日	一の宮中央支所 購買課調査役
井知一	産山中央支所 購買課 購買担当	平成13年9月1日	一の宮中央支所 購買課 購買担当
鈴木敬道	産山農機車輛センター長	平成13年9月4日	一の宮農機センター 審査役
岩下雄二	波野中央支所 購買課 農機車輛担当	平成13年9月4日	一の宮農機センター 主任
井俊治	産山農機車輛センター車輛係	平成13年9月4日	一の宮車輛センター 主任
志賀詩	産山農機車輛センター農機係	平成13年9月4日	一の宮農機センター勤務
古澤正己	波野中央支所 金融共済課長兼購買課長	平成13年9月19日	波野中央支所 金融共済課長
水野美智子	波野中央支所 金融共済課貸付担当	平成13年9月19日	波野中央支所 金融共済課 業務出納担当
甲斐誠一	波野中央支所 金融共済課 金融共済涉外担当	平成13年9月19日	波野中央支所 購買課 店舗係
古澤洋祐	波野中央支所 金融共済課 業務出納担当	平成13年9月19日	波野中央支所 金融共済課 金融共済涉外担当
緒方加士男	本所 金融部 貯金為替課長	平成13年10月15日	西原中央支所 金融共済課長
藤本房子	西原中央支所 購買課 購買担当	平成13年10月15日	西原中央支所 貯金係
高木志保	西原中央支所 金融共済課 貯金係	平成13年10月15日	西原中央支所 購買課 購買担当
荒牧和美	総務部付	平成13年10月15日	蘇陽中央支所 金融係
町みどり	蘇陽中央支所 金融共済課 貯金係	平成13年10月15日	馬見原支所 購買課 購買担当
高宮由雄	西原中央支所 金融共済課長	平成13年10月15日	白水中央支所 購買課長
工藤一男	本所 購買部 農機車輛課長	平成13年10月15日	波野中央支所 購買課長
松田浩幸	本所 営農部	平成13年10月15日	一の宮中央支所 購買課 購買担当
杉野優子	本所 購買部 事務処理課	平成13年10月15日	小国郷中央支所 購買課 購買担当
早瀬忠	本所 総務部 人事教育課	平成13年10月15日	本所 総務部 総務人事課長
春山光男	本所 金融部 融資課長	平成13年10月15日	本所 金融部 貯金融資課長
本郷水城	本所 総務部 総務企画課長	平成13年10月15日	本所 購買部 生産資材課長
後藤一男	本所 購買部 購買課長	平成13年10月15日	本所 購買部 生活課長
成瀬誠一郎	本所 購買部 農機車輛課	平成13年10月15日	本所 営農部 営農企画係
佐藤政法	本所 営農部 園芸課長	平成13年10月15日	本所 営農部 園芸事業課長
工藤西男	本所 営農部 事業課長	平成13年10月15日	本所 営農部 直販課長
甲斐幸一	高森中央支所 購買課 高森給油所長	平成13年10月15日	高森中央支所 販賣課 高森給油所長兼南部地区給油所統括担当
時松良太	小国郷中央支所 購買課 資材店舗係	平成13年10月15日	本所 購買部 事務処理課
渡辺礼也	中部営農センター 園芸課(一の宮駐在)	平成13年11月12日	一の宮中央支所 購買課 一の宮中央給油所
岩下宗之助	一の宮中央支所 購買課 一の宮給油所	平成13年11月12日	中部営農センター 園芸課(一の宮駐在)
松本博美	永水支所 金融係	平成13年11月9日	尾ヶ石支所 金融係
西村太	西原中央支所 購買課 西原給油所	平成13年11月13日	西原中央支所 購買課 購買担当
田上幸納	馬見原支所 支所長代理	平成13年12月5日	高森中央支所 購買課 高森給油所

中部営農センター

阿蘇町小野田276-2 ☎0967-32-1132



■県下有数の稲作地帯を支える 「中部営農センター」

「中部営農センター」は阿蘇町の旧山田支所に隣接し、石松和徳センター長以下48名のスタッフが旧5農協（阿蘇町・黒川・阿蘇一の宮・産山村・波野村）4,685戸を受け持っています。

同営農センターのエリアは、阿蘇・一の宮の平坦地から産山・波野の高原地帯と地形的にも変化に富んでいます。主に平坦地では稲作、高原地帯では野菜栽培や畜産が行われています。中部営農センター全体の販売高は約62億5,558万円（平成12年度）で、作物別の農畜産物販売実績（8ページの帯グラフ参照）では米が半数（21万俵）を占め県下でも有数の稲作地帯となっています。稲作（コシヒカリが約85%）においては平成10年から統一の肥料を用い低農薬栽培を進め、「阿蘇のコシヒカリ」とネーミングし、厳しい管理の下で食味の向上や販売にも力を入れています。

■市場評価が高い野菜・果菜類

次にトマトなどの夏野菜、そして立地条件を活かしたイチゴ、肉牛の順でそれぞれ販売高の10%前後を占めています。特にイチゴの場合は全国的に産地間競争が激しい状況下にありますが、空気・水・地形などの自然環境に恵まれた阿蘇産のイチゴは評判が良く、今後とも消費拡大が期待されています。

またキャベツ、チンゲンサイ、馬鈴薯なども標高600～700mという高冷地を活かし品質も九州1という市場評価を得ています。畜産においては繁殖牛、肉牛の飼育が主となっており、阿蘇牛の銘柄づくりに力を入れています。BSE（牛海綿状脳症）の影響で価格が低迷する中、早期の消費回復に期待が寄せられています。

J A 支所訪問（第2回）



■女性や高齢者の知恵や力が必要

石松センター長は今後の課題を「これまで水田の4,800haのうち1,900haを減反し、転作品目として大豆と飼料作物を中心に栽培しているが、先の見通しが開ける確固たる国の方針が必要だ。JA阿蘇には新鮮で安全な農作物や農産加工品となり得る素材がいっぱいあるが、さらに高冷地栽培野菜の加工や新たな農産加工品の商品開発を行い、例えば国道57号沿いにそれらの商品や小物野菜類を販売できるメロンドーム（七城町）のような施設の建設が必要と思う。そのようのことが実現できれば、もっと女性や高齢者の知恵や力が活かせる」と語っていました。



JAも出資している
はな阿蘇美



販売されている商品
はな阿蘇美で

J A 阿蘇の各支所や施設を紹介する「JA支所訪問」。第2回目は「中部営農センター」と「小国営農センター」です。



小国営農センター

小国町宮原2300 ☎ 0967-46-3211



■地域特性を活かした戦略展開 「小国営農センター」

「小国営農センター」は小国郷中央支所内にあり、北里隆泰センター長以下70名（パート含む）のスタッフが旧阿蘇小国郷農協（小国町・南小国町）の1,854戸を受け持っています。

同営農センターは、農産・園芸・畜産・事業・生活福祉の5課体制となっており、「小国郷の自然の立地条件を活かしていく農業」を推進しています。個々の業態の特徴としては「米+野菜」または「米+畜産」となっています。

小国郷の農畜産物販売高は約36億9,803万円（平成12年度）で、作物別の販売実績（帯グラフ参照）では野菜が半数以上を占め、次に畜産が30%、そして減肥減農薬栽培が12%と続いています。野菜の生産ウエイトが高いのは転作を機に、冷涼な気候や寒暖の差が大きい自然環境を活かしているからです。野菜栽培の中でも、ホウレンソウ・ダイコン・キュウリ・生椎茸は国の産地指定を受けています。



■「小国郷」が全国ブランドに

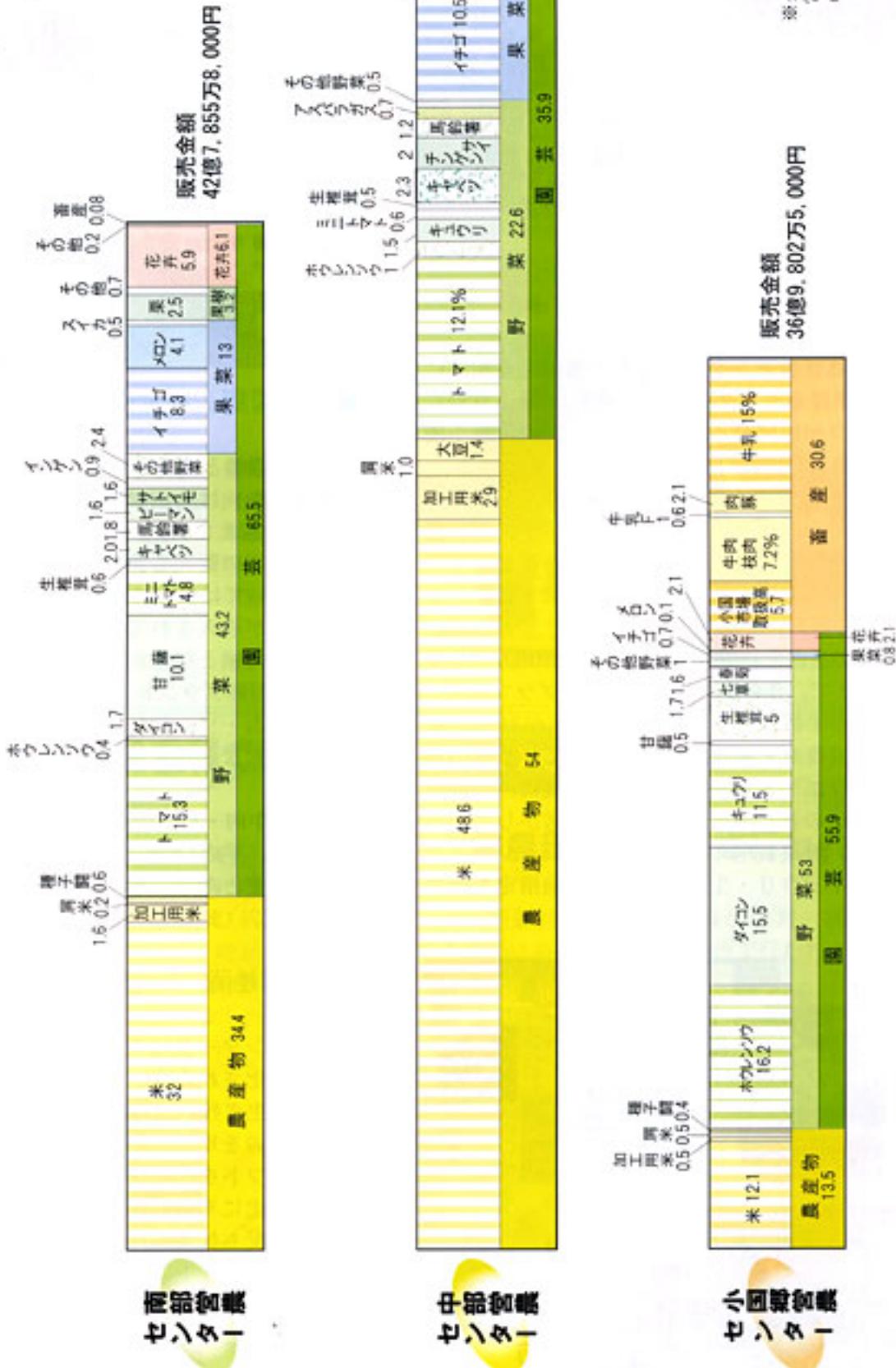
中でも農協と行政が一体になって取り組んだ「小国ダイコン」は全国ブランドとして確立し、共販30周年を迎えました。ほかに七草・春菊・バセリ・甘藷などの販売も伸びつつあります。また、小国郷においては畜産の歴史も長く、昭和31年にジャージ牛が導入されて以来、牛乳と乳製品生産には多くの実績と信頼が築かれてきました。それは今日「小国郷ブランド」として茶や椎茸等と共に、牛乳・ハム・ソーセージ・バター・チーズ・アイスクリームなどが定番商品として販売されています。

一方、牛肉・枝肉生産はBSE（牛海绵状脑症）の影響で、平成13年10月のせり市において通常の2～3割安となっており早期の価格、消費回復が求められています。

■“地産地消”を進め、特産品の周年化を

北里センター長は今後の取り組みを「農業がグローバル化される中、多彩で多様な農業を展開しなければ生き残れない。“地産地消”（地元で生産されたものを地元で消費する）を進めながら、観光客やギフトをターゲットにした商品開発や特産品の周年化にも取り組みたい。同時に特産品等の直販や宅配も拡大したい。現在、製茶工場の設備充実とヨーグルト工場を建設中である。また小国郷が以前から地域をあげてインターネットに取り組んできたことも特色の一つになっている」と話していました。

農畜産物販売実績表 (平成12年度実績)



阿蘇牛肉の安全性をアピール！

BSE（牛海绵状脳症）の風評で、肉牛の消費低下が畜産農家に大きな影響を与えていますが、阿蘇の放牧地で育てた牛は“安全”で“安心”であり、また出荷検査体制が確立されていることから、肉牛の消費回復をはかろうと牛肉試食会が11月11日本所前広場で、同13日は物産館びらみっとで開かれました。「秋の謝肉祭」と命名された本所試食会には都内の消費者や学校関係者ら約800人が参加。また、びらみっとでの「小国郷肉消費交流会」には学校・行政・商工関係者ら約100人が招かれました。

主催者挨拶で丸山信義組合長と永江一雄小国郷肥育部会長はそれぞれ「風評で牛肉の消費が低迷しているが出荷検査体制は万全。阿蘇の大自然の中で育った牛だから、地元産牛肉は安全で安心して食べられる」と訴えました。



J A阿蘇本所前広場での試食会



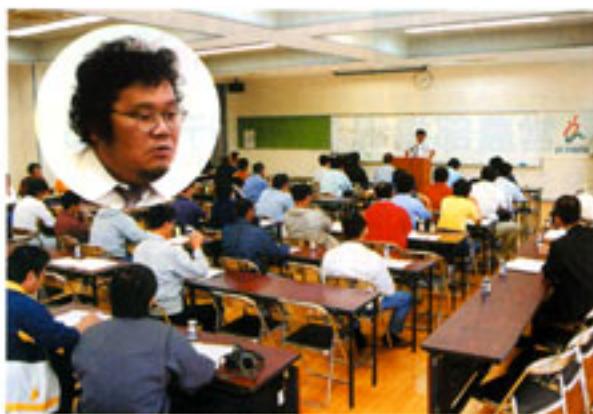
びらみっとで開かれた試食会

J A阿蘇青壮年部研修会開催

「盟友の主張」最優秀賞に倉岡誠喜さん

「看板コンクール」グランプリには小国と古城

熊大の徳野貞雄教授が記念講演



J A阿蘇青壮年部研修会と徳野教授

第26回 J A阿蘇青壮年部研修会が10月13日、関係者100人が参加して阿蘇町の農村環境改善センターで開かれました。先ず主催者を代表して井手孝義氏が挨拶を行い、丸山信義組合長の来賓祝辞後、盟友の主張発表大会が行われ、最優秀賞に一の宮支部の倉岡誠喜さんの「会社勤務から農業へ、私のこれから農業考」が選ばれました。その後、熊大文学部の徳野教授が記念講演を行い、今日



盟友の主張で意見を述べる倉岡さん



看板コンクール表彰式

の農村が抱える諸問題や日本農業の弱点、農政の矛盾などを独自の視点から鋭く指摘し、農業者の奮起を訴えました。また、看板コンクールの審査も行われ、小国郷青壮年部と古城青壮年部作品がグランプリに輝きました。なお、盟友の主張最優秀賞の意見は本誌14ページに掲載、看板コンクールの作品は本誌の表紙で紹介をしています。

会員相互の健康増進と融和を目的に

年金友の会

『親善ゲートボール・Gゴルフ大会』

第1回JA阿蘇年金友の会「親善ゲートボール・グラウンドゴルフ合併記念大会」が9月1日、一の宮町総合運動公園で開かれました。大会には選手を含め関係者330人が参加しました。主催者挨拶、来賓祝辞後、一の宮町の山部安男さんが選手宣誓を行い、各コートに分かれて熱戦を繰り広げました。

試合の結果は次の通りです。なお、参加者全員に記念品が贈られました。

◇ゲートボール

優 勝	蘇陽支部蘇陽Cチーム
準優勝	蘇陽支部蘇陽Aチーム
第3位	高森支部高森Cチーム
元気でプレー賞	なし



◇グラウンドゴルフ

優 勝	阿蘇町支部 井野美智子
準優勝	阿蘇町支部 河津 寿也
第3位	高森支部 本川 由晴
J A賞(第7位)	蘇陽支部 坂本 惟秋
B B賞	一の宮支部 市原 大吉
ホールインワン賞	48名
ニアピン賞・元気でプレー賞	なし

『小国郷チーム』2回戦で惜敗

J A熊本県親善野球大会が8月11日、合志町の恵楓園野球場で行われました。大会には各都市の予選を勝ち抜いた11チームが出場。JA阿蘇からは小国郷チームが出場。通り雨で一時試合が中断するハプニングがありましたが、残念ながら3回戦でやつしろチームに1対0で敗れました。



J Aフォトだより

営農部指導員研修行われる

J A阿蘇営農部指導員研修が11月、宮川指導部長を講師に迎え阿蘇町東部支所で行われました。



**研修後はホームヘルパー2級の資格取得
訪問介護員養成研修会に34人参加**



J A阿蘇訪問介護員養成研修会の開講式が10月10日、阿蘇町中央支所で行われました。雇用対策事業として3年目を迎えた研修会には、各支所で募集した男性2人を含む34人が参加しました。中尾雄二副組合長が挨拶後、オリエンテーションに移り、阿蘇地域振興局の高木昭子福祉課長の講演も行われました。この研修期間は実習も含め延べ132時間、2カ月間にわたって行われ、研修後はホームヘルパー2級の資格を取得することができます。

**JA熊本親善バレーボール大会
日頃の実力を発揮できず！**

第26回JA熊本県親善バレーボール大会が9月8日、合志町総合センターヴィーブルで開かれました。大会にはJA阿蘇をはじめ各郡市の予選を勝ち抜いた10チームが出場。JA阿蘇チームは初戦でかみまきシティと対戦し2対0で惜敗。練習不足のため日頃の実力が発揮できませんでした。



ペイオフ解禁で役職員研修会

いよいよ平成14年4月から「ペイオフ」が解禁されます。現在は銀行などの金融機関が破綻しても、貯金等は全額保護されていますが、ペイオフ解禁後は貯金保険制度保護の範囲が元金1千万円とその利息となります。そこで、このペイオフに対応するための役職員研修会が10月27日、阿蘇町のひのくに会館で行われました。研修会にはJA阿蘇の役職員約107人が参加しました。丸山信義組合長らが挨拶後、信連の担当者から今日の金融を取り巻く諸問題の情勢報告や、JAバンクシステム等についての説明があり、質疑応答などが行われました。

◇JAバンクシステムとは=ペイオフ解禁や金融大競争時代に対応し、より信頼されるJAバンクになるため全国のJA・信連・農林中金の総合力を結集し、全体として実質的に「一つの金融機関」として活動していくという新たな取り組みを行い、組合員や利用者のニーズにより一層良質で高度な金融サービスを提供するシステム。



松岡衆議院議員との農政報告会開く

J A阿蘇青年部と衆議院議員松岡利勝先生との意見交換会が、豊友60名が参加して平成13年9月29日、阿蘇町内牧で行われました。



J A阿蘇も多彩な農産物を出展 =2001くまもと農業フェア&米まつり=

生産者と消費者の交流の場となる「2001くまもと農業フェア&米まつり」が、県農業公園カントリーパークで10月27・28日開かれました。毎年秋の恒例イベントとなった農業フェアには、JA阿蘇からも農畜産物や農産加工品を出展し、威勢のいいかけ声に各販売コーナーには大勢の買物客が訪れ、生産者とふれあいながら新鮮で安全でうまい農産物を買い求めていました。また、会場一角には農業を広く理解してもらうためのお米ギャラリーや特設ステージ、情報展示コーナーなどが設けられ、入場者は「食」と「農」の結びつきの大切さを、楽しみながら体感していました。



J A阿蘇の出店通りは、
買物客でいっぱい



販売コーナーには
旬の野菜が勢揃い



メロンにキャベツに農産加工品、
何でちやあるよ！

地域色豊かに、実りの秋へ感謝祭 品評会やバザーなど多彩なイベント

実りの秋に感謝し、地域のふれあいをいつそう深めようと青空の下、各地で“農業祭”や“収穫感謝祭”など多彩なイベントがにぎやかに開かれました。

● JA阿蘇のアンテナショップ、菊池郡合志町「郷の四季」では9月22日(土)、新米まつり“阿蘇の秋味収穫祭”が開かれました。店にはオープンの9時前から近郷の大勢の買物客が押しかけ、阿蘇産直の新鮮で安全な農作物や農産加工品を買い求めていました。



●「小国郷収穫感謝祭」は11月17日(土)、小国郷中央支所野菜集出荷所を開かれました。感謝祭ではもちつき大会、焼き肉や焼きそばのバザー、和太鼓や音楽演奏、組織部会対抗綱引き、大根早おろし大会などのイベントが行われ、会場は終日歓声に包まれていました。



組織部会対抗綱引き大会

●西原村の「農業祭」は11月18日（日）、ふれあいまつりとして「からいもマラソン」と一緒に西原中学校グラウンドをメイン会場に開かれました。会場を取り巻くように張られたテント内では野菜・果物・農産加工品の展示・即売や農作物品評会、農機具、自動車展示会などが行われました。



会場となった西原中グラウンド

J A 阿蘇「大型家具・家電ショー」開く



主催者によるテープカット



J A 阿蘇主催の「大型家具・家電ショー」が中北部は11月3日～4日（阿蘇町第2体育館）、南部は11月9日～10日（グリーンピア南阿蘇）で開かれました。会場には最新の家電製品や家具、リビング、インテリア用品などが一堂に展示され、豊富な品揃えに関心が集まりました。なかでも、季節がら暖房器具などに注目が集まっていました。また農機・車両展示会も各 J A 中央支所の農業祭や感謝祭会場で開かれました。

毎回、楽しみながら料理教室 =阿蘇農業女性部料理教室グループ=

阿蘇農業女性部料理教室が12月14日、阿蘇町の農村環境改善センターで開かれました。この料理教室は阿蘇町の大和とよ子さんを会長に会員25人のグループが主催するもので、当日は料理の指導にあたる2人の先生を迎えて、会員14人が参加しました。今回はお正月を前におせち料理にもなるクールサンド、さけの南蛮酢、フルーツきんとん等7品（表紙写真参照）のおいしく実用的な料理を作りました。

同グループでは2ヶ月に1度、料理教室を行っており、参加費は材料費（実費）程度となっています。入会等については大和さん（☎32-0104）までお問い合わせください。



楽しく作ることがおいしい料理に



阿蘇農業女性部グループのみなさん

会社勤務から農業へ、私のこれからの農業考

JA阿蘇青壯年部一の宮支部 倉岡 誠喜

「長い間お世話になりました。これからは、地元の阿蘇で農業一本でがんばります」。

勤めていたメガネのヨネザワの経営會議で最後に飛び出した私のセリフに同僚たちは「ウソー、マジや？」と驚いた顔で目を丸くして私を見ていきました。

私は4人兄弟の一人息子、跡取であります。勤めていた15年間、皆には「兼業農家です」と言っていましたが、世の中にはこんなに面白い、思い切った経営を実際にこんなにたくさんの方がやっているのかと知りました。自分ならこうしたい、こうやってみたいという気持ちが日に日に大きくなっていました。そして昨年春、人生の岐路がやってきました。店の移転オープンの決定と父の事故による入院、普通に考えれば勤めを続け、農業の規模を小さくする道を選ぶのかもしれません、私は父の後を離ぎ農業の道に入る事を選びました。私には「いつかは家に帰って農業をやるんだ」という気持ちが常にありました。店が移転オープンすれば今より忙しくなり、休みはもっと少なくなる。父の事故も、「もう親父も無理は出来ないな。盟友のアドバイスもあり、スタートを切るのは今しかない」と思い退職を決意しました。

我が家は繁殖牛中心に30頭、稲作 2.5haを經營しています。規模拡大をしたい、と常に思ひながら勤めていましたので、大変参考になった事があります。それは、九州各地への転勤と、阿蘇営業所に帰ってからは、小国町から南阿蘇の高森、蘇陽町までメガネのお届けが出来たことで、各地の農家の方々と話ができ、経営視察も同時に出来ました。

所変われば、これだけ経営状況が違うものかと思いました。中でも畜産經營されている方とは、自然と時間も長くお話しすることが出来ました。

市街近郊で大規模に經營されている方にもお会いしましたが、住宅街近くの堆肥処理の苦労と粗飼料の確保の苦労をお聞きしました。「私も阿蘇で牛を飼つてるとですとよ」と言うと、「良かなー、原野が広かけん、草はしとめんどうー?、あぎやん広かなら、放牧は何百でんぐくどったい?」等、阿蘇はうらやましいという意見を多く聞きました。多額の資金がかかったであろう立派な牛舎、堆肥処理施設、倉庫は大型機械がズラリと並んでいます。阿蘇にはない広大な畑でサイロを何トンも確保し、しかも温暖な気候で飼料作物はぐんぐん育つ。阿蘇で出来るかなと初めはうらやましく思いました。

又、規模は小さくても管理をしっかりされている方にお会いしました。限られたスペースを有効に利用し、狭くても牛の運動場を作り、「舎飼いでも、晴れた日はこん牛たちにお天道様に当ててやろうごたる」と交互に日光浴をさせていきます。使う道具は作業種、順番によつてきれいに並べられ、ホウキが作業場のあちこちに有り、掃除が行き届いていました。

他にも多くの方と話ができ、見て「なる程」と参考になつた事は、これから経営に生きてくる。私の勤め時代の貴重な宝だと思います。

皆さんは阿蘇を端から端まで走られたことはありますか?。地図で見てください九州の下真中に広大な土地を占めています。我が家が属している牧野組合は、やまみハイウェイから近いところです。春の野焼きには多くの観光客が来て足を止めます。その数は年々増えて夢中でシャッターを切っています。その中の一人がこうおっしゃいました。「野焼きを止めるニュースを聞きました

が、ここは大丈夫ですか?」。私は迷わず「うちらへんは後継者があるけん大丈夫です」とすると「良かったー、私は放牧してある牛や馬をよう撮るとですよ、野焼きを止める所は放牧ばせんごつなるて聞いたもんだけん、安心しました」「そぎやん牛や馬の良か写真の撮るですか?」「ハーハー、風景も良かばってん、牛もヨカ一表情しとるですよー!」。

こういったやりとりは、勤め時代もあったのですが就農してからの私にはとくにはげみになります。この広い牧場をもっと有効に利用して、伸び伸び育った牛を、腹いっぱい安心して安く食べれる様、昔、畜産農家がたくさんいた頃の様に何百という牛が放牧出来る様にしたい。これを実現させるためには、次の事をやらなければならないと思います。

それは、周年放牧と、これを利用した野焼きの労力軽減です。まず周年放牧は、年間通しての放牧を実現し、舎飼いの肥出し等の労力を軽減します。その為には、年々厳しくなる夏の暑さや大雨、冬場の厳しい風雲を凌げる非難施設を作り、管理の行き届く環境を牛に作ってあげたいです。又、野焼きの前には、地区全員の労力と時間を必要とする「輪地切り」「輪地焼き」という防火帯を作る作業があります。これを「輪地」の内と外に牧柵を張りその中の草を、放牧した牛に食べてもらおうという考え方です。そして他の地区で実施されていますが「グリーンベルト」という、一年中枯れないクロバー等を「輪地」内に植えるという方法をミックスさせ、阿蘇一の宮独特な野焼きが出来たらいいと思います。

そしてそれが、実現出来たら次に「観光牧場」を是非作ってみたいのです。やまみハイウェイを通る何万人の方、一人一人に、阿蘇の牛を見て食べて堪能出来るスペースを作つてみたい。野焼きに合わせて、牛の丸焼き、バーベキュー広場、小動物ふれあい広場等、楽しめるイベント広場を設け、牛一頭をオーナー制にしたり、月何kg牛肉を年間に渡り、お届けする契約販売等が出来ると、面白くなると思います。

就農してからJA青壯年部と畜産部会に入りました。先日、盟友の皆さんとのパワーをまのあたりにしたイベントがありました。それは毎年行われている、畜産品評会を、名称改め「モーモーフェスタ」です。今年は、JA、行政、そしてJA青壯年部も協力して、地域の方のみならず、一般の方にも来て頂くよう盛大に行つていう事になりました。イベントで何をするかでは、盟友の皆さんには牛と米の消費拡大と、夏休み中の子供達が楽しめる内容を、という事で盛んにアイディアを出されました。牛のスケッチ大会、760kgの牛の体重当てゲーム、阿蘇コシヒカリのつかみ取り大会、小動物ふれあい広場等が決まりました。準備には、我が家の農作業等で忙しいさなか、汗びっしょりになって取組み、当日は盟友の皆さんのが作った農産物は飛ぶように売れ、楽しそうに動物達に話しかけ、恐る恐る触ったり、スケッチをする子供達。600食意したバーベキューセットは品不足になるなど、大盛況に終わりました。盟友の方達の滴り落ちる汗、前向きな姿勢、意気込みは就農してから感じていたわざかな不安を見事に吹き飛ばしてくれました。私は、やって見せます。盟友の皆さんに知恵をお借りし、子供達、農業をしてみようかな?と思う人が、「阿蘇で農業をしてみたい」と言われるような経営を目指して!

保護者や地域住民いっしょに「蘇岳祭」

阿蘇郡内唯一の農業関連学科を持つ「阿蘇清峰高校」からのメッセージ。今回は昨秋行なわれた文化祭「蘇岳祭」の模様を写真で紹介します。

2001年度「蘇岳祭」は“大空と大地の中で…”をテーマに平成13年11月10・11日の2日間、阿蘇清峰高校で開かれました。10日は第2体育館で「収

穫感謝祭」が行われ、実りの秋に生徒全員が感謝の気持ちをささげた後、会場を第1体育館に移し蘇岳祭開会式、ステージ発表会などがありました。

翌11日は各教室や校庭などを会場に多彩な展示会やバザーが行われ、保護者や地域住民など大勢の人々が訪れ生徒たちと交流を深めていました。



①蘇岳祭開会式の前に
行われた「収穫感謝祭」



②大切に育てられたシクラメン
も販売された



③茶道部による野点



④自分たちで作ったカレーは
抜群にうまい！



⑤実習で作った農畜産加工品を
買い求めようと長蛇の列…



⑥保護者も参加して餅つき



⑦農産物即売コーナー
も人だかり



⑧焼き肉コーナーも大人気

平成14年1月から

所得税の確定申告書が 新しくなります。

納税者の方々からの改善の要望にお応えして、平成14年1月から使用する所得税の確定申告書を新しくしました。

様式を2種類に 現在の6種類ある申告書を2種類に統合しました。

用紙がA4サイズに！ 申告書の統合により、分離課税用申告書と紛失申告書、修正申告書を別表にしました。

用紙が2枚に！ 「用紙が扱いにくい。」という声にお応えしました。

記載欄を整理 裏面から表面への転記の煩わしさを改善しました。

分離課税用などが別表に 申告書の小さい文字の説明文や計算式を整理し、見やすい様式にしました。

第一表

確定申告書B

第二表

～食糧事務所からのお願い～

◆農家の皆さんへ◆

国内テロ防止対策のために、農薬の保管・管理にご協力ください。



- 農薬の保管・管理をしっかりして、盗難、紛失の防止に努めましょう。



特に、毒物又は劇物に該当する農薬については、次のことに気をつけてください。

- 鍵のかかる保管庫等の整備
- 保管量の定期的なチェック、利用状況の記録

- 盗難、紛失事故が発生した場合は、直ちに、警察署に届けましょう。



農林水産省 熊本食糧事務所

発行

阿蘇農業協同組合総務部総務人事課

〒869-2612 熊本県阿蘇郡一の宮町宮地387-5

TEL 0967・22・6111

FAX 0967・23・1088